

第12回
ケアポート・田谷夏祭り

スポンサー・ボーン

夏祭り実行委員長:橘 和豊

残暑厳しいおり、皆様ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

本年もケアポート・田谷、夏の恒例行事、

今年も夏の陽気のさなか実施された夏祭り。皆様方のご協力のもと、盛大に終える事が出来ました。当日ボランティアとしてご参加いただきました、いでたち様、栄区車椅子ダンス協会様、また和太鼓をお貸し頂いた千秀小学校様。本当に有難うございました。あの日の暑さが遠い思い出の様な、肌寒ささえ感じるこの頃になってしまいましたが、夏の行事らしい賑わいを、紙面にてご報告させていただきます。



夏祭りが開催されました。例年同様、いやそれ以上の猛暑の中で開催となりましたが、地域のボランティアの方々のご協力やご家族の皆様に参加して頂き、大変盛り上がった夏祭りとなりました。心より感謝申し上げます。

さて、今年で3年目となりました職員による「和太鼓演奏」ですが、今回は女性職員が新たに2名、、、、じゃなかった(笑)3名参加となりました。3名ですよ！お間違いなく！？また、総人数も7名(+1名)となり和太鼓も胴太鼓2台と締太鼓2台の合計4台での演奏となり今まで以上の迫力に加えさらに‘華’が

あったのではないかと我ながら満足しております。もちろん、その分大変なこともたくさんありました。女性職員3名は今年初参加であり、太鼓を打つこと自体が初めてで基礎からの練習でリズムを体に叩きこむまで時間がかかりました。また、演奏者の人数が多い分リズムを合わせるのが難しく、叩くタイミングがずれるとはつき



写真左から、加藤一坂本一須永一寺島一井出一
上野一橘一松本 (敬称略)

りとわかってしまいます。リズムが合うまで何度も何度も練習を繰り返しました。しかし女性職員は3名ともリズム感が良いのか？指導者の教え方が良いのか？（男性職員に対してよりずいぶん優しい気がしたのは気のせいでしょうか？）また、皆夜勤明けや休みの



日にも練習に参加して頑張った成果が実り始め‘スットン・スットン・ドドーン・ドンドン’という基本のリズムが身体に叩き込まれていき少しずつ形になってきました。

ところが、、順調に練習が進んでいたと思われた矢先になんと毎年メインで太鼓を叩き、松岡修造さんの様に熱血指導してくれていた「田谷町一！？の大男」理学療法士の坂本さんがまさかの腰を負傷！足を引かず痛み止めを飲みながら練習、指導してくれました。しかし、痛みが治まらず本番の参加が危ぶまれ、そこで登場したのが去年参加してもらったデイケア職員の上野さんです。当初今年の演奏メンバーには入って



いなかったのですが、坂本さんの負傷を聞き急遽参加してくれました。実は参加が決まる前から練習に参加して新メンバーに教えてくれていたんです。ありがとう上野さん！残りのメンバーも坂本さんの穴をうめるべく頑張りました。ケアポート・田谷の目標でもある職員同士のチームワーク

が生かされたのではないのでしょうか！ご覧になった方はお分かりかと思いますが、彼は意地でも参加して利用者の皆様を喜ばせたいという強い思いから痛めた腰を庇いながら本番の演奏にも参加してくれました。本番はアドレナリンが出ていたのか痛い様子を一切見せずに演奏していましたが、体が大きい分腰への負担も人一倍あったのではないのでしょうか。プロ根性に拍手を送りたいと思います。また、初参加の女性職員は体力的にも大変だったと思いますが、猛暑の中汗だくで演奏してくれました。皆さんもとても喜ばれていたと思います。

またお祭りといえば屋台での食事も皆さんの楽しみの一つかと思います。この暑い時期ですから冷



たいかき氷とソフトクリームは予想通り飛ぶように売れました。去年の反省を生かし、かき氷用の氷也多めに用意しておいたので途中でなくなってしまうこともありませんでした。



今年は新メニューとして「そうめん」を提供しました。屋台の配置やもっとわかりやすく宣伝等ができればもっと売れたのではないかとの反省点もありましたが、やはり暑さもあつてか冷たいそうめんはとても好評だったと思います。いかがでしたでしょうか。

今年も無事に大きな事故等もなく夏祭りを終えることが出来ました。来年以降もまた皆様楽しんで頂ける様な夏祭りを企画したいと思います。年1回の行事であります、初めて参加して頂ける方はもちろん毎年参加して頂けるご利用者やご家族の皆様の心に残る良い思い出となり、ケアポート・田谷に入所して良かったと思って頂ける様な施設を目指し日々精進して参ります。

まだまだ暑い日が続いておりますが、皆様の秋が実り多きものとなりますようお祈り申し上げます。

夏祭りを終えて..

今年も8月2日（日）に夏祭りが開催されました。猛暑の中、各部署、ボランティアの方々、シダックスの方々等多くの方々の協力のもと事故なく盛大に行われました。今年は委員として初めての参加。手際よく進行していき開設以来の積み重ねを実感。昨年の反省点を改善し、ご利用者ご家族待望の和太鼓演奏に今年は初の女性職員が参加し一段と華を添え、フィナーレの花火へと繋げ盛大な拍手の中、暑い熱い夏祭りは終わりました。ご利用者の心にもあでやかな思い出を残す事が出来たと思っております。



また来年も待ちに待っていただける夏祭りに繋げていきたいと願っています。



今年で13回目となる介護老人保健施設研究大会が、7月11日にパシフィコ横浜で開かれました。当施設も技術・知識の研鑽を目的に、毎年発表させて頂いています。今回は、冒頭の開会式におきまして、昨年の優秀演題として表彰されました。

その後、3階フロアー、通所リハ、リハビリから3つの演題を発表させて頂きましたが、大勢の方を前に緊張しながらも、しっかり発表する事が出来たと思います。これからも、この経験を日々の業務に生かし努力していきたいと思っています。

今年も参加しました 横浜市介護老人保健施設研究大会



7月11日（土）横浜市の介護老人保健施設研究大会が開催されました。当施設でも、3グループが発表を行い、その内の1つは、3階フロアーの担当になっています。私達3階の研究発表内容は、『本当の私を知って！』とテーマ付けした日常介護の1場面から、自立度向上に繋がった事例を発表させて頂きました。発表内容は、はぶかせて頂きますが、今回の研究発表で日常の介護において、御利用者の些細な変化を見逃さない目配り、気配り、心配りが重要である事を再認識いたしました。今後は、今回の経験を活かし御利用者の変化に注意しながら、快適で安全な施設生活を送って頂ける様努めて参ります。



まだまだ残暑厳しく体調崩しやすい季節ですが、御家族の皆様も体調に注意し御過ごし下さい。

3階 介護：村越

“笑顔でさようなら” 私たちが発表に向けて取り組んだ、老健大会のタイトルです。まずは、発表当日にデイケアをお休みとさせて頂くなど、皆様の様々なご協力に、お礼申しあげます。

今回は、帰りの送迎時におけるリスク軽減への取り組みを発表致しました。何かしらの疾患を抱え、歩行に問題ある方々の移動になりますので、一般的には適切な人員配置と見守りの強化が基本の対策となります。しかし早く帰りたいが故になど、様々な理由から職員が意図しない危険な行動が見受けられる事もありました。そこで、行動の制限や見守り強化に重点を置くのではなく、御利用者の気持ちに目を向けた取り組みをしたらどうか？との視点にたち、ある程度の成果を得た事などを発表致しました。

色々な試みについて会場で述べさせて頂きましたが、簡単に要約すると、「プログラムが終了しましたので、皆様さようなら」ではなく、個別に「プログラムの途中ですが、〇〇さんの車の準備が出来ました」です。結果、以前と比べ、家路を急ぎ危険な行動をとる方が少なくなりました。皆様の気持ちになって考えることの重要さを、改めて感じた取り組みとなりました。これからも一日が無事に終わり、明日も楽しい一日が始まる為に、笑顔で“さようなら”と言って頂ける様に取り組んでいきたいと思っています。



